



# 小田原・平塚正教会だより

2015年10月号

2015年10月1日発行 第158号

司祭 デイミトリイ 田中 仁一

〒250-0011 神奈川県小田原市栄町四丁目 4-1

TEL/FAX: 0465-22-2792 携帯 070-5079-3408

E-mail: [oco\\_sakae@nifty.com](mailto:oco_sakae@nifty.com)

日本ハリストス正教会教団 HP: <http://www.orthodoxjapan.jp/>

郵便振替口座: 00270-6-15226



われら ふしゆきょう しさい そんひん  
**「我等の府主教…、司祭の尊品、ハリ**  
 ストスに因る輔祭職、悉くの教衆及  
 び衆人の爲に主に祈らん」

大連禱の第五の祈願文



## ～大連禱その5～

聖体礼儀の最初の執行者は、私たちの救主ハリストスご自身でした。彼の升天の後、聖体礼儀において主の後継者となったのは、十二人の聖使徒です。そして現在、彼らの後継者として聖体礼儀を執行するのは、私たちの主教様です。【 2 ページに続く】

### ●十字架挙栄祭聖体礼儀・月例パニヒダ・聖歌練習と講話

10月4日(日) 10:00～(9:30 痛悔)

祭日調 コリント前1:18-24 イオアン19:6-11、13-20,25-28,30-35

月例パニヒダの時間から30分、キッズタイムがあるよ!

**ボランティアデー 10月31日(土) 小田原教会 9:30～15:30 (詳細はP4)**

作業内容は、除草と花の苗の植え付けです。昼食は、焼きそばとバーベキュー! 今回も多くの参加をお願いします。

## 聖体礼儀解説(6) ～神の御座に座する者～



ローマ帝国は約 300 年にわたってキリスト教を迫害してきましたが、4 世紀の初め、一転して帝国がキリスト教を公認すると、各地に多くの教会が建てられるようになりました。聖使徒以来、聖体礼儀は主教が行うものですが、時間の経過とともに各地の教会を一人の主教だけで巡回することが不可能となりました。そこで、主教は自分が監督する各地の教会の「長老」と呼ばれる人々に聖体礼儀を執り行う権限を分け与えました。この伝統は今日まで連綿と受け継がれています。この長老と呼ばれる人々がいわゆる現在の「司祭」です。聖体礼儀の執行者はあくまで主教ですが、司祭は主教の「代理」として聖体礼儀やその他の機密を執り行います。したがって、司祭は自らの聖務においてすべて主教に責任を負っているものであり、自立しているわけではありません。そもそも「司祭権」のようなものは存在しないのです。

主教は「ハリストスの御座に在り、敬虔と潔淨とを以てハリストスの教会を司牧する者」です。私たちは主教の品格の中にハリストス自身を見るのです。聖体礼儀に主教がいること、あるいは聖体礼儀の執行を主教が許可することは、その執り行われる機密が「純潔」であることの証です。アンティオキアの聖イグナティオスは、「主教によって執り行われる聖体機密、あるいは主教が許可した者によって執り行われる聖体機密のみが有効である」と述べています。

初期ヴィザンチン時代、聖体礼儀は現在のいわゆる「小聖入」から始まりました。主教の入堂とともに祈禱が始められたのです。入堂後、主教は聖堂の中央で祭服を着用しました。これは今日でもしばしば行われています。主教の祭服着用は、「神の言が人体を藉る」ことを象っています。

主教は神から遣わされた者です。聖イグナティオスによれば、「ハリストスは彼を遣わし、自らの業を宰らしめる」のです。主教はハリストスの御業、すなわち迷える羊を教会という群れに合わせるという業を為すために神の家に入ります。「オモフォル」と呼ばれる独特のものを主教は祭服の一部としてまといますが、これは「迷える子羊を救い担ぎ上げる」ことを象っています。それゆえ、主教はオモフォルを着用するとき、『ハリストスよ、爾は朽ちたる人の性を其の肩に担いで、天に升起て、神、父に奉げ賜へり』と祈ります。主教はまさに「主の名に因りて来る者」、主宰ハリストスの象りです。そして、聖堂に衆参する信徒は、救主を迎える「神のイスラエル」なのです。

聖体礼儀において、主教は「神の御座に座する者」であり、司祭らは「聖使徒の会衆に座する者」です。私たちは皆、ハリストス及び聖使徒と共に聖体礼儀に与るのです。そこで私たちは、聖なる宴の荘厳さと同時に、その執行者たちが身にまとう危うさをも感じるのです。なぜなら、私たちは共同の祈禱の力を知っているからです。ゆえに、私たちは主教のためにハリストスに祈るのです。聖金口イオアンはこう言います、「もし誰かが主教の救いの為に祈れとあなた方に命じたならば、やめたほうがいい。そもそも彼の荷は自分の力では負えないものだから。しかし、輔祭が主教の為に祈らんと嘆願するのを聞いたならば、嘆願するのを止めてはならない。むしろ、情熱をもって祈りを奉げなさい。なぜなら、あなた方は集まって祈禱することの力を知っているのだから」。



## 最近の出来事・消息

**小田原** 聖体礼儀 9月6日(日)五旬祭後第14主日聖体礼儀と月例パニヒダが行われました。この日は昼食をはさんで、聖歌練習と講話が行われました。この日のテーマは「イルモス」。現在小田原の聖堂では神父が領聖をしている10分前後の時間、領聖器に続いてイルモスを歌っています。このイルモスとはそもそも何か、また、歌われている言葉は聖書のどこからの引用なのかを学びました。またイルモスの例として、2、3の歌謡を皆で歌いました。

**柏久保** 晩課 9月13日(日)、五旬祭後第15主日の前晩祈禱が行われました。境内地のちょうど半分の雑草がきれいに抜き取られており、それは、エウドキア日吉美智子姉が除草してくれていたのだと、あとで分かりました。ご祈禱前にも、午前中來られる方が教会に集まり清掃を行って下さっています。皆さまのご奉仕に神様の祝福が豊かにありますよう、お祈り致します。

**静岡** 聖体礼儀・聖堂建築進捗状況 9月20日(日)、五旬祭後第16主日聖体礼儀が行われました。建設委員会では第1回の会合で提示された新聖堂の納骨堂と鐘楼の位置関係に関する図面上の事案について、再度意見交換が行われました。建築計画の今後の日程は、建築を担当するナカノ工房の近藤健太兄に10月・11月の2ヶ月で計画図面を完成させて頂き、12月末までに見積りを上げ、来年1月中に見積り確定する予定です。この過程の進捗に合わせて、旧聖堂の解体を行います。したがって、新聖堂本体の着工は来年4月頃になることが申し合わされました。新聖堂のイコノスタスに使用する聖像画の修復については、玉川大学に寄贈した聖像画の修復が完了し次第、10月末までに修復を依頼する修復センター横浜に移送します。



来春に解体される聖堂

◆玉川大学教育博物館 2015年度特別展示『山下りん・日比和平が描いたイコン』展◆静岡正教会から玉川大学教育博物館への聖像画の寄贈を記念して開催される展覧会に10月14日の生神女庇護祭に合わせて見学バス旅行を行うことが最終決定されました。静岡から最大で20人の参加を見込んでいます。参加費は一人10,000円。展覧会を見学した後、横浜中華街へ移動、襦袢を兼ねた昼食会を行います。昼食後は山下公園で自由行動、午後4時30分に横浜を出発します。

**修善寺** 聖体礼儀・墓地祈禱 9月13日(日)、五旬祭後第15主日聖体礼儀が行われました。この日は、伊豆までお出かけになられた小田原教会の小口さんご一家が聖体礼儀に参拝されました。昼食をはさんで間もなく、修善寺地区の墓地祈禱のため、墓地に移動しました。墓地にはこれまで墓前に参らなかつた箇所もあり、そこでも祈禱を行うことができました。また知らせはなかつたものの、森家に森松代さんという永眠者の名が刻まれており、その方の聖名がワッサであることが判明、共に記憶しました。また9月前半、他の各地域でもすでに墓地祈禱を行っています。新たに埋葬された、アンナ山田



たか姉、イグナティイ長谷川謙兄、アキラ尾崎明兄らも記憶されました。また津田家墓地祈禱は大雨の中でした。各墓地で各ご家族の永眠者を記憶ができたことを感謝致します。

**平塚** 9月5日(土)は開催先となる重田仁兄の御宅のご都合がやむを得ずつかなくなり、急遽取りやめとしました。次回の集会は11月14日(土)澁谷道子姉宅にて行います。皆さまのご体調が守られますことをお祈り致します。

**教区** 9月19日(土)13時00分より、教区主催講演会として「日本の府主教セルギイとその時代」と題して横浜国立大学名誉教授長瀬光男先生よりお話を伺いました。ニコライ会館に約90名が集まりました。セルギイ府主教が来日することになったきっかけなどをはじめ、なかなか知ることでできないエピソードを歴史的視点から学ぶことができました。

## ボランティアデー

2015年10月31日(土)

9:30～15:30 (雨天中止 (小雨の場合は行います))

毎年、境内地美化活動として行っています。草むしりをはじめ、花壇に花の苗や球根を植えます。自分の手で植えた球根が、春花開くのが楽しみになります。この日は昼食に大きな鉄板で焼く、神谷忠明執事長特製焼きそばをはじめ、バーベキューなどなど、楽しみもたくさん♪ご家族でもふるってご参加ください！



## 子ども成長感謝祈禱

11月1日(日)

聖体礼儀に引き続き

小田原教会聖堂にて



お子様の今日までの成長への感謝と共に、今後の日々の上の歩みに神様の祝福がありますようお祈りします。神父さんからのプレゼントもお楽しみに♪

### Blessing Children

We give thanks to our Lord Jesus Christ for His grace on children. The priest will bless your children in the prayer, and give them small presents. The prayer will be held soon after Divine Liturgy on November 1<sup>st</sup>, 2015.



【2015年10月】小田原・平塚ハリストス正教会 月間活動予定表

日	曜日	祈祷・行事・集会	堂役	主日調/聖書の読み
1	木			
2	金	[東京]		
3	土	聖十字架挙栄祭徹夜祈(17:00)		10/4 調: 祭日 使徒経: コリ前1:18-24 福音経: イオ19:6-11、 13-20,25-28,30-35
4	日	聖十字架挙栄祭聖体礼儀(10:00)・月例パニヒダ・聖書講話	山口(幸)	<p>●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう</p> <p>●糖飯: 假野 美枝姉</p> <p>10/11 調: 第2調 使徒経: コリ後11:31-12:9 福音経: ルカ5:1-11</p> <p>●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう</p> <p>10/18 調: 3調 使徒経: ガラ1:11-19 福音経: ルカ6:31-36</p> <p>●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう</p> <p>10/25 調: 4調 使徒経: ガラ2:16-20 福音経: ルカ7:11-16</p> <p>●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう</p>
5	月			
6	火	[私祈祷]		
7	水	[私祈祷・教区理事会(東京18:00)]		
8	木	ラドネジの聖セルギイ祭		
9	金	[東京]		
10	土	[柏久保巡回]		
11	日	五旬祭後第19主日代式祈祷(10:00)・聖堂清掃 [修善寺巡回]	山口(幸)	
12	月	体育の日		
13	火			
14	水	[静岡教会 玉川大学イコン展 見学]	生神女庇護祭	
15	木			
16	金	[東京]		
17	土	主日晚課・執事定例連絡会(17:00)		
18	日	五旬祭後第20主日代式祈祷(10:00)・会館 / 駐車場清掃 [司祭不在 ギリシャ 30日まで]	神谷(幸)	
19	月			
20	火			
21	水			
22	木			
23	金			
24	土			
25	日	五旬祭後第21主日代式祈祷(10:00) [司祭不在 30日まで]	神谷(幸)	
26	月	聖デミトリオス祭(新暦)		
27	火			
28	水			
29	木			
30	金	[司祭帰国]		
31	土	ボランティアデー(境内地美化活動) 9:30~15:30		

司祭不在時は教会(0465-22-2792)または神谷忠明執事長(0465-22-8140)へ連絡を。

\* 聖体礼儀に参拝し領聖するときは、前日から十分に節制しましょう \*



## 10月の永眠者一覧(敬省略)

永眠日	聖名	氏名	永眠年	縁故者
1日	ミハイル	假野 松樹	2001年	假野 美枝
2日	ニコライ	渡辺 忠	1923年	渡辺 宏
2日	ノンナ	田村 清子	2009年	
4日	イオアン	重田 恒吉	1929年	重田 仁
5日	ロマン	山口 活次	1889年	山口 晃
5日	グリゴリイ	飯塚 正男	2004年	山本 保
6日	マトフェイ	小杉 実	1936年	小杉 英男
7日	フォカ	廣石(赤子)	1909年	廣石 利恵
8日	ミハイル	中根 藤吉	1989年	
8日	アルセニイ	秋澤 英治	2011年	
9日	シメオン	澁谷 正男	1989年	澁谷 道子
12日	ニコライ	廣石 大介	2014年	廣石 清子
17日	イサアク	山口 以撒	1892年	山口 晃
18日	アレキセイ	日比野 平蔵	1955年	日比野 勇
18日	マリヤ	多喜 かく	1997年	廣石 利恵
19日	マルコ	澁谷 新治	1966年	澁谷 道子
23日	イアコフ	紺野 雅治	1925年	紺野 弥生
23日	イアコフ	石井 勝治	1946年	石井 愛子
25日	ルカ	山本 繁	2012年	山本 保
26日	ニカ	山口 かつ	1988年	山口 晃
27日	パウエル	中島 基一	1946年	岡野 康子
27日	ルカ	澁谷 政吉	1925年	澁谷 道子
27日	オリガ	上野みゆき	1985年	上野 攻
30日		川辺 久雄	1991年	川辺 康弘
30日	ワルワラ	中島 たま	1946年	岡野 康子
30日	ナデジダ	吉竹 恵子	1999年	

今月の月例パニヒダは第一日曜日です。

聖堂は皆さんのお祈りの場、そして皆さんの たましい 霊が永遠に養われる場です。ローソクを灯して少しの間、ご家族のために祈りに来られるだけでも大変結構です。どうぞ遠慮なさらずお越しください。



## 献金報告

9/20 現在 日付は会計処理日です。ありがとうございました。

日付	氏名	摘要
8/2	世古 智也兄	感謝献金
8/2	廣石 和子姉	パニヒダ献金
9/6	セルギイ ゴロパチョフ兄	感謝献金
	廣石 和子姉	パニヒダ献金

婦人会献金：今月はありません。

定額献金を教会に賜り、神に感謝します。この献金報告には定額献金以外が掲載されています。定額献金の領収については、定額献金の封筒で行っております。毎月のご支援、ありがとうございます。

### 司祭不在のお知らせ

司祭は、聖山アトス内の修道院および司祭の教会があるアテネ滞在のため、10月18日から10月30日まで不在になります。その間の緊急時は山手ハリストス正教会のコンスタンティン樹田尚神父様が対応して下さいます。マツカは教会にいますので、何かありましたら、通常通り教会またはミハイル神谷忠明執事長にご連絡下さい。宜しくお願い致します。

教会:0465-22-2792

執事長宅:0465-22-8140

## 糖飯について

糖飯についての記録をたどると、1500年以上にまで遡り、正教会の伝承では、聖人となったセオドロス（フェオドル）が一人の主教の前に顕われて、麦と蜂蜜を使って作り方を迫害時代の中で保存できる食料として教えたとされています。糖飯がパニヒダの際に献ぜられる意味には、「墓を象るもの」として、あるいは「朽ちる人の体を象るもの」としてなど諸説あります。こう言った習慣が、食文化の異なるアジア圏ではもち米を用いて作られるようになっていきました。最近は味と見た目と美しさのために様々な工夫が各家庭でなされています。お母さんと一緒に、お孫さんと一緒に、またご夫婦でと、ご家庭の永眠者を記憶する際に糖飯を準備されてはいかがですか。

なお、小川原教会では月例パニヒダ毎に1つ、教会でのご奉仕として担当の婦人が糖飯を作って持ってきて下さっています。それに関わらず、記憶のために糖飯をお持ちくださって構いません。（教会で分けずに持って帰ってもかまいません。）作り方を知りたい方は、お気軽に教会までお問い合わせください。



ひいおばあちゃんのために作ります！



## ヴラヘルナの佯狂者アンドレイ

記憶日 10月15日/10月2日 (新習)

聖アンドレイは西暦 900 年代の世を生きた聖人。スラヴ地方に生まれた聖アンドレイは、智慧に満ちた皇帝レオの時代、コンスタンティノープルに住む裕福な男、セオグノストスのところに奴隷として買われた。聖アンドレイは容姿端麗、心も美しかったので、セオグノストスは彼を大事に扱って読み書きまで教えた。聖アンドレイは教会での祈祷に集っては熱心に祈っていた。

そのようなある日、聖アンドレイに天啓が下り、彼はそれに従う決心をした。その啓示とは、「神の名によって愚劣になること」であった。ある日、彼は井戸に行くとき身にまとっている衣を脱いで切り裂き、その井戸に投げ入れてしまった。驚いたセオグノストスは聖アンドレイを鎖でつないで聖アナスタシア教会に引き連れ、彼のために祈った。彼が狂ったように見えたからだ。どれだけ祈っても、佯狂者(神のために狂ったように見える者)となった聖アンドレイには、当然ながら何も変化はなかった。

セオグノストスは、病にかかったとの理由で聖アンドレイを奴隷から解放した。彼はあばら家で終日祈って過ごし、夜になると裸体にポロポロの上着を羽織って街に出て、乞食たちとパンを分け合って食べた。ほとんどのパンは彼らに分け与え、自分は少量だけをとって食べていた。彼は自分が受け取ったものは何であっても彼らに差し出し、礼を言われる前に立ち去った。聖アンドレイは神からの恩寵だけを求めていたのだった。

こうした彼に、神の大きな恩寵が降った。彼は人間の中に秘めたものを見分ける能力を賜った。天使も悪魔も見分けることができた。それゆえ、彼は人の内に入った悪魔を追い出して、罪から立ち帰らせることができるようになった。そして何より、彼は語りようのない天国と栄光の座につく主イイススハリストスを見たのだった。

ある日聖アンドレイと彼の弟子エピファニオスはヴラヘルナの教会の中で祈っていたときに生神女マリアと会った。生神女マリアは彼女のペールを両手に持っていた。生神女マリアはそのペールで私達ハリスティアニン(クリスチャン)を覆っていたという。またこの時、彼らは人間に理解することができない天の言葉も聞いた。このヴラヘルナの教会での出来事が 10月14日に祝われる生神女庇護祭の起源となっている。

聖アンドレイはこの日を境に厳しい節制生活を送り、西暦 911 年に天の国へと旅立った。

